

民有林と国有林が森林整備推進のための協定 森林共同施業団地「越路・豊原・共進地区」の設定(概要)

1 目的

森林共同施業団地の設定は、上川町と㈱ニチモク林産北海道及び上川中部森林管理署が、石狩川の上流域である上川町内の森林について国土保全機能、水源かん養機能等の公益的機能の発揮できる適切な森林整備を推進するため、国有林と民有林が一体となって効率的かつ集約的な森林整備を進め、路網、土場の相互利用等に関する事項を定める等木質バイオマス資源の有効利用にも貢献することを目的とするものです。

2 経緯

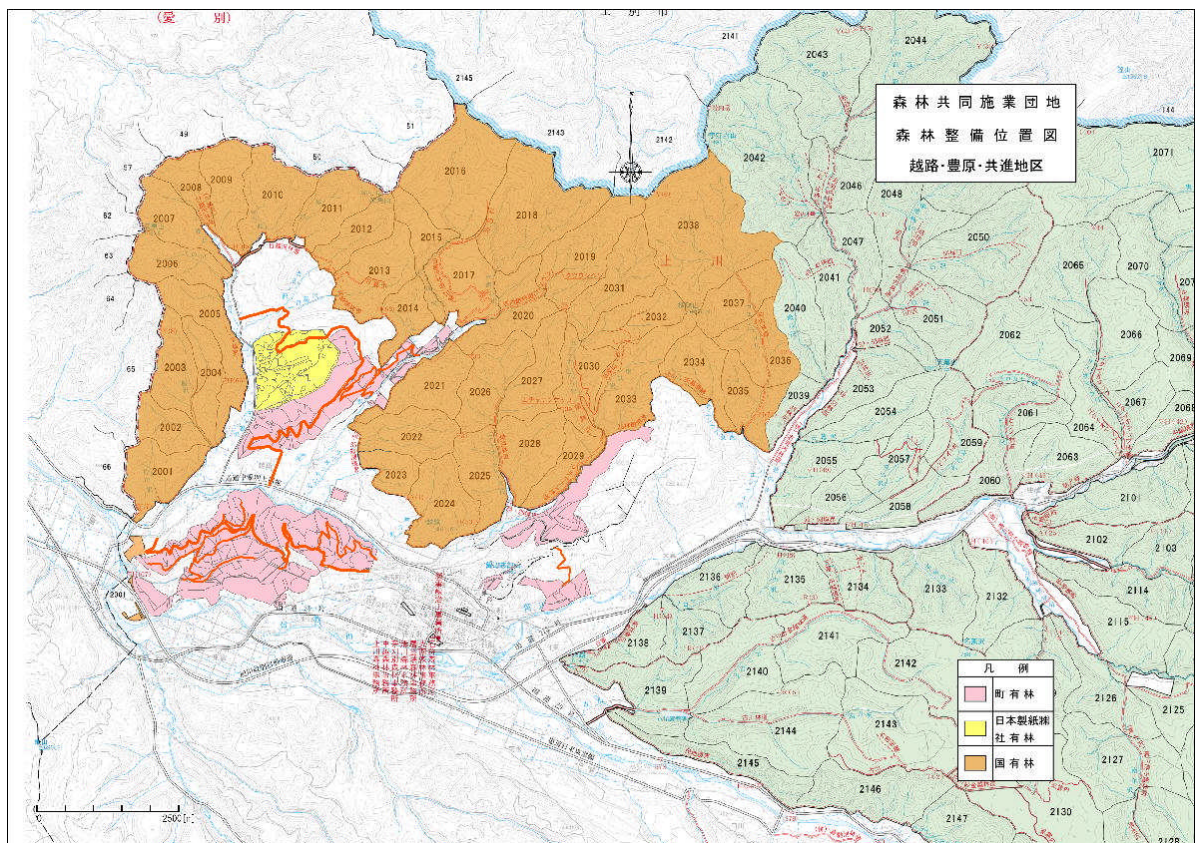
道北地域は北海道の「国有林と民有林が連携した木質バイオマスの大規模なエネルギー利用の促進地域」に指定されており、木質バイオマス資源を効果的に集荷するための様々な先駆的な取り組みが行われています。

上川町と㈱ニチモク林産北海道及び上川中部森林管理署は、地域の人工林が資源として利用可能な段階を迎えつつある中において「森林・林業再生プラン」の実現に向けて、

- (1) 効率的かつ集約的な森林整備の推進
- (2) バイオマス資源の安定的な供給
- (3) 必要な路網の整備

等を行うため、協議し、協定の締結に至ったものであり、林地残材を効率的に集荷するための間伐時期の調整や土場の共同利用などについて、より具体的に調整を図ることとしています。

3 森林共同施業団地の位置



4 越路・豊原・共進地区森林整備実施計画

協定に基づく森林整備について、次のとおり実施計画を定めています。

(1) 森林整備の目標

ア 森林共同施業団地は、山地災害防止機能・水源かん養機能の発揮を重視する森林（水土保持林）が主であることから、森林整備に当たっては、保水力の高い森林土壌の維持、下層植生の良好な発達が確保され林木の成長が旺盛な森林に誘導するための森林整備を推進することとする。

イ 路網整備に当たっては、民有林と国有林が一体となって、可能な限り環境への負荷を軽減させ、かつ、効率的な森林整備が出来るよう配慮した路網の設置に努めるとともに、相互に協力して維持・補修に努めるものとする。

ウ 伐採及び搬出に当たっては、可能な限り伐採時期を一体的に設定し、可能な限り環境への負荷を軽減させ、かつ、効率的な森林整備が出来るよう土場の共同利用等を図るよう努めるものとする。

(2) 森林整備実施計画（平成22～25年度）

区 分	森林面積 (ha)	森林整備面積 (ha)	路網整備 (m)
町 有 林	888	46	—
日本製紙(株)社有林	157	21	—
国 有 林	5,178	1,356	39,400

5 本協定により期待される効果

(1) 民有林及び国有林が連携した間伐材生産のロット拡大、バイオマス資源の安定供給や路網整備等により、集約的かつ効率的な森林整備が推進される。

(2) 路網の計画的整備、相互利用等により低コスト・高効率作業システムの確立と木材の持続的な生産が確保される。